



JAL不当解雇撤回ニュース

No526号 2017.02.27
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

2/16国民支援共闘会議第7回総会 討論報告

地域での運動を拡げ、世論を盛り上げていく

～各地の支援団体の代表から活発な意見が出されました～

京都支援共闘
稲村さん



外堀は埋まりつつある
解決を勝ち取る段階だ

毎月18日に宣伝行動をしている。昨年秋、京都市美術館増改築に京セラが50億円出し、50年間の命名権を買取った。稲盛氏の体質を露呈している。

6年間、稲盛財団の京都賞受賞式、6月の株主総会等、宣伝行動をし、京セラ・稲盛氏を攻め続けている。11月には京都賞の授賞式をはじめ3日間で1800枚のピラを参加者に手渡した。授賞者の講演の日では、参加者のほとんどが受け取ってくれた。こんな争議をいつまでもやらせていたらいけないという決断をさせたい。

全国でも日航攻めをして頂き、外堀は埋まりつつある。あとは内堀と天守閣に乗り込み、政治解決を勝ち取る段階に来ている。半年間で勝利解決の形を作っていくことに力点をおいて、全国の仲間が団結して頑張っていく必要がある。

東京中部共闘
小林さん



あらゆる闘いと連動して
支援の輪を広げたい

国労争議支援の経験から、地域で共闘会議を作り、解雇撤回闘争を地域から支えている。毎月1回の会議と年1回の総会と合宿会議を重ねてきた。支援の輪を広げることが大事と争議行動に参加。JAL経営陣が決断をしない不当な状況、この壁をどう打ち破っていくかが問われている。

争議以外でも市民運動と結合して野党が共闘して政治状況を変えようとする動き。連動して地域での運動を拡げ世論を盛り上げたい。勝利するまで支援していく決意。

愛知の会
鶴山さん



一日も早い解決を
目指し頑張りたい

毎月金山駅で「一の日行動」として宣伝行動をしている。3月末に愛知の繁華街で大きな宣伝行動を行う予定。

原告団の要求に寄り添って、一日も早い解決を目指して頑張っていきたい。

大田実行委員会
小林さん



もう一回り大きな運動で
世論を巻き起こしたい

大田の共闘行動には 16 団体が実行委員会に参加し、共同しながら支援共闘が呼びかける行動に積極的に取り組むと同時に、地元でできることをやろうと運動を進めている。

支援でなく、雇用破壊との闘い、空の安全を守る闘いのため、私たち自身の闘いとして運動してきた。12 月の集会では、180 名の仲間が確信と展望を持ち意思統一を図った。

原告団、当該労組の皆さんが職場で頑張っている。これと固く連携をして世論を巻き起こし、頑張れば勝てるという展望を示すことが大事。

6 月頃にもう一回り大きな運動を作りたい。これまで接点のない団体や個人の皆さんに働きかけを強めていきたい。多くの労働者が安心して働ける社会を作る、だから自分たちも頑張れる、この決意でこれからも頑張りたい。

釧路・根室の
支える会

多くの市民に拡げて
支える仲間を増やす

この闘いを全国化し
て行くことに焦点を
当てるべき

山本さん

2011 年 1 月に東京で開かれた JAL 解雇撤回集会に参加したのが最初の出会い。北海道でも何とかしないとイケないと熱い気持ちになり、6 月に北海道 6 ヶ所で支援集会を行った。12 年 11 月には釧路で集会だけでなく原告と一緒にオルグに回った。16 年 3 月には、支援する準備会で集まろうと集会を開き、原告に講演をして貰った。そして、国労釧路闘争団の横田さんとも行動を共にし、しっかりとした支援組織を作りたいという事で、12 月 21 日に支える会立ち上げた。

多くの市民が JAL はおかしいぞと思えるよう、広げていきたい。当面 1000 名の会員を目標に頑張っている。

横田さん

安倍政権のもとで労働法制を考えると、不当解雇撤回の闘いの帰趨によって労働情勢は大きく変わるだろうと思う。経験からの願いは、私たちは大きなブレーキがあった。闘争団が大きく割れ、最高裁の判決に大きな影響があったと思う。JAL 原告団が団結し我々が支えていき、この闘いを全国化していくことに焦点をあてるべき。支える仲間を増やしていきたい。

